



いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

2530

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：有賀行秀

幹事：佐藤尚誠

発行：会報・広報委員会

第 3357 例会 (5号) 2024 年 8 月 1 日 (木) 晴れ

新入会員卓話 SPEECH



みずほ銀行いわき支店 支店長

河野 剛直 会員

簡単に自己紹介をさせていただきます。大体の方からは「この・ごうちやく」さんですか？と聞かれることが多いですが、「かわの・たけなお」と読みます。46歳。出身は茨城県の稲敷郡基崎町です。家族は、会社の元同期だった妻と、多感な年ごろの娘2人の4人家族です。娘2人からは、昔は「パパ」と呼ばれていましたが、最近では残念なことに「あいつが…」と3人称扱いでしか呼ばれなくなってしまいました。趣味はキャンプとトレッキングです。モットーは「どうせ仕事をするなら、明るく・楽しく働こう！」ということで、いわき支店でもこれをモットーにして、部下は分かりませんが私は毎日明るく・楽しく働いております。

本日の卓話は「金融リテラシー向上に向けて」ということで、金融リテラシー向上の重要性についてご説明させていただきます。金融リテラシーとは、「経済的に自立し、より良い生活を送るために必要となる、お金や経済に関する知識や判断力」のことを意味しています。なぜ金融リテラシーを身に付け・向上させることが必要となるのか、金融リテラシー向上の意義について、「社会的な目線」、「個人の目線」、そして「企業の目線」の3つの目線から見ていきたいと思います。

まずは、「社会的な目線」から見てみたいと思います。日本の総人口は、2008年の1億2808万人をピークに減少しており、2070年には8700万人まで減少する推計となっております。これは、少子化により若年層の人口が減少しているのが原因です。一方で、65歳以上の人口が総人口に占める割合は、1920年には5%程度でしたが、2030年には30%を超え、2070年には40%に迫る勢いとなります。これを、現役世代と年金世代の区分で見比べてみます。年金制度は、現役世代の保険料で高齢者の年金を捻出する仕組みになっています。1970年は「約10人で1人」を支えていましたが、2020年では「約2人で1人」を支える状況となり、2070年には「ほぼ1人で1人」を支えることになる、と推計されています。このように人口構造が変化すると、「社会保障費の負担の増加」や「経済成長の鈍化」が懸念されます。

今度は、都道府県別の人口推計を見てみたいと思います。2050年の日本の人口推計は2020年と比べて83%まで減少し、65歳以上の割合は37%に上昇します。一方、福島県については、2050年の人口推計は2020年と比べて68%にまで減少し、65歳以上の割合は44%まで上昇する見込みです。未来の福島県を「活力ある経済」としていくためには、「未来の高齢者となっていく方々」の豊かなライフデザインが必要となります。余談ですが、人口減少と高齢化が最も進むのは、同じ東北地方の秋田県となります。

次に、「個人の目線」で見比べてみます。嬉しいことに、日本人の「65歳時点の平均余命」は、この30年間で男性は約4年、女性は約5年延びており、その結果、男性は85歳まで、女性はほぼ90歳まで平均的に生きることになります。最近では「人生100年時代」と言われますが、そうなりますと、「将来のお金は足りるのか」ということが心配となります。

入社してから退職するまで約40年働きますが、退職後も、働いていた期間と同じ約40年を「貯蓄と年金のみ」で過ごす必要があります。[60歳で退職し、65歳から年金の受け取りを開始する]と仮定

した場合、貯蓄残高は退職時の60歳をピークに減少を始め、90歳の時点で貯蓄残高はマイナスに転じることになります。

将来のライフデザインを考える場合は、物価上昇についても考慮する必要があります。日本は長い間、物価の下落が続いてきましたが、足もとでは急速に物価が上昇しています。最近では生活の中で、食料品やガソリンなどの値上がりを実感している方も多いのではないのでしょうか。「物の値段が上がる」ということは、つまり、「お金を使っていなくても、実質的なお金の価値が下がっていく」ことを意味します。例えば物価が毎年2%ずつ上昇すると、実質的なお金の価値は、20年間で約7割にまで目減りすることになります。このように、長期でのマネープランを考えるときには、物価の上昇に負けないように、資産を守る必要があります。

福島県民の方の、「金融に関する行動や考え方」の特徴を見てみたいと思います。政府が実施している都道府県別の金融リテラシー調査の「生活設計」の欄を見ていただきますと、「お金について長期計画をたてて努力している人」の割合は全国5位と上位の水準ですが、一方で「老後に向けたライフプランや資金計画を立てている人」については、47都道府県中で35位の水準に留まっています。また、「金融教育」についても、「学校で金融教育を行うべき」とその必要性を感じている人の割合は全国トップの水準ではありますが、「実際に学校で金融教育を受けた人」の割合を見てみますと、残念ながら全国平均を下回っている状況です。

最後に、「企業の目線」から「金融リテラシー向上の意義」を見てみます。2022年11月の「新しい資本主義実現会議」において、「資産所得倍増プラン」が策定されました。これは日本の家計金融資産約2000兆円の半分を占める現預金を投資に繋げることで、「持続的な企業価値向上の恩恵」が「資産所得の拡大」という形で家計にも及ぶ、「成長と資産所得の好循環」の実現を目指すものです。「資産所得倍増プラン」の推進に向けて、「7本柱の取組み」というものが示されておりますが、この中で、企業には「雇用者に対する資産形成の強化」の取り組みが求められています。

「職場に対する従業員の評価」を見てみます。「休暇」や「地理的条件」等の項目は既に従業員から高い評価となっている一方、「資産形成やライフプラン等に関する研修・教育」の項目については、従業員からの評価は低い状況となっております。

さらに、従業員の金融リテラシーが高くなればなるほど、職場において「資産形成に関する研修・教育」が行われることを重視する傾向が高くなっております。また、従業員の金融リテラシーが高くなればなるほど、職場において「退職後に備えた資産形成やライフプランに関する研修」をすることで「職場に対する従業員のエンゲージメント」が高くなる、傾向があります。つまり、従業員の方に対して継続的に金融経済教育を行い、従業員の金融リテラシーを高めることは、従業員のエンゲージメント向上に繋がり、「優秀な人材の確保」や「人材の流出防止」に繋がる効果が期待できます。

次に、金融リテラシー向上に向けた弊行の取り組みについて簡単にご紹介させていただきます。秋田支店では、今年1月に秋田県内の大学で、新入生を対象とした「金融リテラシーとライフデザイン」に関する寄附講座を実施しております。

いわき支店では、昨年度は、お取引のある企業さま向けに、金融リテラシー向上に向けたセミナーを30回開催しております。参加頂いた従業員の方からは「仕事が忙しく学ぶ機会がなかったのが有難かった」「これを機に資産形成を始めてみたい」との声を頂いております。また、いわき支店で、ドリンクを飲みながら気軽に「新NISA」を学ぶことができる「みずほNISAカフェ」というものを、2024年1月より開催しております。平日夜間や休日も開催しており、



2024~2025年度国際ロータリーのテーマ

「ロータリーのマジック」

THE MAGIC OF ROTARY

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

通常の企業向けセミナーに参加できない方からも好評を頂いております。

お客さまへのマネープランのご提案に際しては、「ライフデザイン・ナビゲーション」というものを使い、お客さまの「夢」や「ライフデザイン」にあわせて、お金の将来設計をシミュレーションしております。みずほ銀行に口座のない方でも、QRコードを読み取ることで、スマートフォン上で、ご自身で簡単にライフデザインのシミュレーションを行うことができます。

最後に、本日のまとめです。1つは、今後、急速な人口減少・高

齢化が進む中、金融リテラシーの向上を通じて、“未来の高齢者となっていく人達”の人生を豊かにしていく必要がある、ということ。もう1つは、企業においても、従業員の方たちの金融リテラシーを高めることは、「エンゲージメントの向上」や「人材確保・流出防止」といったメリットに繋がる、ということです。もし、会員の皆さまの会社で、従業員の方の金融リテラシー向上に向けた取り組みを希望される方がいらっしゃいましたら、お取引のある金融機関、または我々みずほ銀行いわき支店にお声をいただければと思います。

司会：佐藤尚誠幹事

〔点鐘・ロータリーソング（奉仕の理想）・ロータリーの目的（渡邊有会員）四つのテスト（飯野光世会員）〕



渡邊有会員



飯野光世会員

★誕生祝



鈴木 弘康さん
(8月4日)

Happyバースデーソング斉唱

◆会長挨拶



先週は土用の丑の日でした。今年は今月5日にもう一度丑の日があります。二の丑と言います。土用とは実は各季節の変わり目にありまして立夏・立秋・立冬・立春の約18日前を指すことになっています。実はこの土用というのは建設業には今でも影響することが多く、土用の間は土を動かすことを嫌うので、土木工事を行う時には気にしておかなければなりません。私の仕事だと水道管の修理とか浄化槽の修理などで土をいじります。今はあまり気にする人もなくなりましたが、それでも後になって「土用だったのに」と指摘されることも少なくありません。なので「暦」を見る機会も少なくありません。

皆さんは土用に鰻を召し上がりましたでしょうか。土用の鰻は平賀源内がうまく宣伝をしたからという話は知られている話ですが、それ以前には「う」のつく食べ物を食べる「食い養生」の習慣があったそうです。平賀源内は夏に売り上げの落ちた鰻屋から相談され、「本日 土用丑の日」と書かれた看板を出すことを提案したそうですが、この意味がよくわからない看板にひかれて多くの江戸っ子たちが特別に感じて店に吸い込まれていったそうです。コピーライターの走りともいわれているそうです。

夏の土用の「う」の食べ物の他に夏痩せにきく土用蛄や腸になる土用餅などもあります。夏の「う」に対して秋は辰の日の「た」のつく食べ物など江戸のゲン担ぎはいろいろあります。「う」のつくもので思い出したのですが、「う」の引き出しを作っていたのは向田邦子さん。向田さんの机の上には「う」の引き出しがあって、そこに

は各地の美味しいものしおりやパンフレットが詰め込まれていたそうです。今でこそインターネットでなんでもお取り寄せできる時代になりましたが、かつては電話で問い合わせるか物産展で見つけるかしないと手に入りませんでした。だからお土産がとても新鮮に感じたものです。向田邦子さんの引き出しに入っていたのが丸市屋のウニの缶詰だったそうです。

そしてもう一つ。私の家の菩提寺は淵山山長源寺という曹洞宗のお寺さんですが、江戸幕府の命により御開基を鳥居元忠公として建立された寺であります。去年のどうする家康に「彦」として登場した鳥居彦衛門元忠が、石田三成軍に徹底抗戦して伏見城で落命した日でもあります。鳥居公の話はまた後日、機会があればいたします。

◆幹事報告

- 8月ロータリーレートは1ドル=154円です。
- いわき平東、いわき小名浜、いわき勿来 RC より8月プログラム予定表が届きました。
- 2023～24年度いわき分区分事業報告書が届きました。



◆委員会報告・会員報告

◆出席委員会（川松裕之委員長）

例会日	基本会員数	出席者	メンバー数
8月1日	46名	28名	—

◆ロータリー財団委員会（代理・三瓶和秀会員）

有賀行秀さん、阿部弘行さん、飯野光世さん、関口武司さん、渡邊有さん、森雄治さん、三瓶和秀さん。以上7件

◆米山記念奨学会委員会（飯野光世副委員長）

森雄治さん、渡邊有さん、関口武司さん、三瓶和秀さん、阿部弘行さん、有賀行秀さん、飯野光世さん。以上7件

◆スマイルボックス委員会（小林隆太委員長）

♥有賀行秀さん（河野さん卓話よろしくお願ひいたします）♥佐藤尚誠さん（河野さん卓話宜しくお願ひ致します）♥越智正典さん（会員皆様のご健勝を念じて）♥鈴木弘康さん（誕生祝ありがとうございました）♥河野剛直さん（本日、卓話をさせていただきます。どうぞ宜しくお願ひ致します）♥関口武司さん（河野さん、卓話宜しくお願ひします）♥三瓶和秀さん（河野支店長、卓話楽しみにしています）♥渡邊有さん（河野さん卓話宜しくお願ひ致します）♥久保田将さん（河野さん卓話宜しくお願ひします）♥小林隆太さん（河野さん卓話ががんばって下さい。楽しみにしています）♥郡二三子さん（納涼例会は楽しくお世話になりました。河野支店長卓話ご苦労様です）以上11名

★本日の例会案内 8月22日（木）12：30～
会員増強委員会担当卓話 遠山良浩委員長
お食事メニュー＝サーモンムニエル

★次回の例会案内 8月29日（木）12：30～
外部卓話 磐城高着代表取締役 高橋正行様
お食事メニュー＝鶏カツ